



河川氾濫の危険が迫ったときに備えて 自主避難のなぜ、いつ、どこへ

避難行動の
確認



☎ 安全安心対策課 ☎ 内線1182

毎年6月から10月までを「出水期^{しゅつすいき}」と呼びます。梅雨・集中豪雨・台風などの影響で、河川の増水による洪水や、低い土地の浸水(内水)が発生しやすい時期です。

近年、全国各地で水害の規模や範囲が大きくなっています。利根川と小貝川に囲まれた取手市も、いつ大きな水害が発生するか分かりません。

各自の置かれた状況や避難に必要な時間によって、避難を開始するタイミングや避難先は異なります。河川の氾濫などに備えて日頃から市総合防災マップなどを確認し、各家庭で水害時の避難について考えることが大切です。

より安全に避難できる方法を確認し、考えておきましょう。

市総合防災
マップ



防災ラジオを貸し出しています。

防災ラジオは、普段ラジオとしてAM放送やFM放送を聞くことができますが、市の情報を受信すると防災無線の放送が流れます。災害時の情報収集として、ご活用ください。

◎貸し出しは有料です。(標準タイプ:2,000円)。希望する方は安全安心対策課にお問い合わせください。

防災ラジオ
申し込み



なぜ?

大雨により河川が氾濫した場合、**広い範囲に長期間深い浸水が想定されます。自宅や浸水域内にとどまることはできません。**

そのため、浸水の恐れがない地域へ避難することが必要です。

いつ?

車で避難を考えている方が多いため、混雑による渋滞が発生する可能性があります。台風の接近や、大雨が降り続ける場合には、**河川の水位が高くなくても、暗くなる前、雨風が強くなる前に、早めの避難が必要です。**

どこへ?

浸水のおそれのある地区では、普段からどこに避難するかを確認しておく必要があります。

避難先としては、市の指定する避難所だけでなく、安全な地域にお住まいの親戚、知人宅など、自主的に避難できる場所を確保するようにしましょう。

取手駅前に

新たなアートスポット誕生!

取手駅西口のペDESTリアンデッキ上の新しいベンチに、令和5年度取手市長賞受賞作品のブロンズ像「よりどころ」を設置しました。「よりどころ」は、寄り添って写真撮影されることをイメージして設置され、作者である岡本美里さんの、「皆さんになでてもらいたい」という願いを実現しました。

アート時計塔「共生の樹」とともに、駅前の新たなアートスポットとして、アートのまち取手を演出します。待ち合わせや撮影スポットとしてご利用ください。

☎ 文化芸術課 ☎ 内線1291

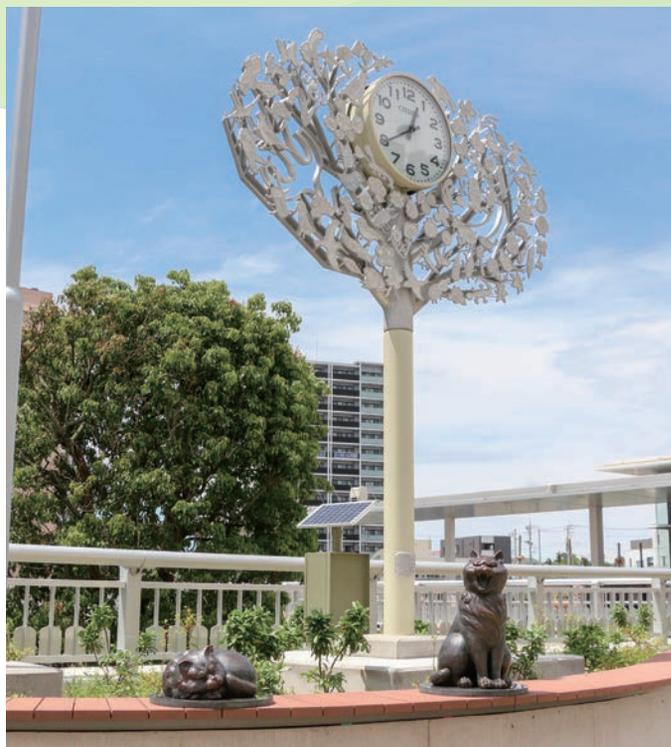


「よりどころ」と作者の岡本さん

ほかにも
たくさん!

取手駅周辺をはじめ市内には、ほかにもリングや壁画など、多くのアート作品があります。アートマップを片手にアート作品を探してみたいかたがでしょうか。

取手アート
マップ



キヤノン株式会社の寄付により東京藝術大学が制作した時計塔「共生の樹」との新アートスポット